



ベニシジミで
す。小さく身近に
見られ、羽の紅色
が美しいチョウです。
春型と夏型とで
は、黒味が違いま
す。

なかよし旬間がありました

ね らいは「一人ひとりの気持ちや良さに気づき、
自分もまわりの人も大切にしよう」です。

朝の時間、校長講話では絵本
「くれよんのくろくん」のお話
がありました。それぞれちがう
けど、それぞれのよさがあることに気づいていけるよう
な子どもたちの意識につながっていきました。全校音楽
や全校体育で「ボディーパーカッション」「猛獣狩りに
行こうよ」などの活動を全校で、メンバーを変えて楽し
みながら活動しました。また、ペア活動では、異年齢で
関わって「地震源」「いっせんバラリコ」や鬼ごっこを
楽しむ姿がありました。他には、なかよし給食では、な
かよし班（異年齢）でそれぞれが決めた場所に、給食の



手作りお弁当を持ち寄って食べたり、児童会「ありがとうカード」の活動では、たくさんの「ありがとう」のメッセージをお昼の放送で紹介をしたりしました。

19日（金）には人権教育の授業を参観していただきました。人権講演会では「佐久聾太鼓」の皆さんのお話や演奏を聴いたり、太鼓の体験活動をさせていただいたりしました。子どもたちからは、「もしも、自分も音が聞こえなかつたら心配だけど、みなさんは音を体で感じ取って頑張っていてすごいと思いました。」などの感想がありました。



ICT機器の活用がすすんでいます

常の授業の導入場面などで電子黒板が活用

されています。もちろん、タブレット端末の画面を映し出す大型モニターとしても大活躍です。

例えば、4年社会「防災学習」では、タブレット端末の中にあるスタディーノート10の電子掲示板の機能を活用した授業を外部団体の方の支援を得ながら行いました。子どもたちは電子掲示板でお互いの意見を自由に見たり、感想を返信したりして活発に関わり合っていました。また、お互いの考えを十分共有した上で、安心して堂々と考えを発表し、意見を交わすことを通して、学びを深めている姿もありました。

今年度、本校では短時間でも職員が授業参観（ICT機器の活用を含む）をして、感想を伝えたり互いに学び合ったりして実践を積み重ねて研鑽しています。

遠隔地とつながったり、感染症対策として密を避けたりするためオンライン活用も行っています。ZoomやTeamsを使って校長講話や児童会活動、交流活動などに挑戦しています。プレゼンテーションの画面を織り交ぜながら、双方向でのやり取りも行っています。

例えば、10日（水）オーストラリアのサンディークリーク校との交流を、全校が体育館に集まってTeamsで行いました。6年生が学校紹介のスライドを作成し、英語で上手にスピーチしていました。サンディークリークの子どもたちからも学校の様子（日本の日）の活動を発表してくれました。また、他には、6年生は北相木小と互いの修学旅行についてスライドで発表し合ったり、2年生は飯田市の座光寺小や御代田北小とやぎの飼育について画面を通して情報交換し合ったりといった取組を行っています。



今年度は、保護者アンケートもGoogle forms（オンライン）で実施させていただきました。なんと、配信当日におよそ1/3の方が回答していただきました。ICT機器の即時性という良さを感じました。ご協力いただきありがとうございました。

12月の主な予定

師走です。大掃除、1年のまとめですね。



12月	1日 (水)	安全点検日 読書旬間 (10日まで) 朝: ペア読書 中学校説明会 6年
	2日 (木)	全校スケート教室
	4日 (土)	県立中学入試 小海町長杯スケート大会
	7日 (火)	朝: 読み聞かせ
	9日 (木)	朝: ブラックシアター 焼き物教室 (1・2・6年)
	10日 (金)	朝: 読書旬間終わりの会
	13日 (月)	あいさつ週間
	14日 (火)	全校スケート教室②
	16日 (木)	児童会
	17日 (金)	全校 CRT テスト
	20日 (月)	卒業写真撮影 学期末清掃 保護者懇談会① 5時間授業 プログラミング学習① (スクールロゲイニング)
	21日 (火)	保護者懇談会② プログラミング学習②
	22日 (水)	朝: 全校遊び 保護者懇談会③
	24日 (金)	2学期終業式 5時間授業
	25日 (土)	年末年始休業 (~1月6日) 川上スケート大会
	26日 (日)	(県ジュニア競技会)
	27日 (月)	(軽井沢スケート競技会)
	29日 (水)	閉学日 (~1月3日)
1月	6日 (木)	スキー教室下見
	7日 (金)	3学期始業式 安全点検日

10/29 (金) 学校保健委員会



校保健委員会で、松島恒志先生（野沢中学校長）に「スマホやネットの使い方 振り返ってみよう」で講演していただきました。

本校の子どもたちのメディアに対する実態は、大人が思っている以上にメディアに触れていて、いろいろ知っていると感じました。だからこそ、保護者や教師は子どもたちのメディアリテラシーを如何に高めていくのか、正しい情報の取捨選択ができるスキルを身につけさせていくのかという点が大事だと感じました。



講演では、メディア問題を具体的に「依存」「課金」「個人情報」「心の問題」の4つの側面からわかりやすくお話ししていただいたので、子どもたちが今後、自ら考えるきっかけを作っていました。特に、「心の問題」は子どもの人格形成において深刻な問題です。社会全体で問題意識をもつ必要を感じました。

ぼくは、今回の話でネットやゲームの危険性を確認しました。自分は、この話を聞くまでは何も感じずにネットやゲームをしていました。でも、この話を聞いてネットには画像や映像から住所がばれることやゲームには課金や広告の恐ろしさがあり、これまでに似たようなものをいくつも見たことがあります。でも、ここまで恐ろしいとは思いませんでした。(中略) この話をこれから的人生、生き方に役立てていきたいです。

スマホなどで心がけていること 南相木 小学校

- | | | |
|---------------|------------|----------------|
| ■ 時間を決める | ■ 食事中に使わない | ■ 勉強中に使わない |
| ■ 課金しない | ■ 課金額決めている | ■ 写真や動画をアップしない |
| ■ 知らない人と会話しない | ■ 会わない | ■ 時間制限アプリ |

データ (略)

3年 4年 5年 6年

今回、新型コロナ感染症防止対策として、保護者の人数を制限して実施しましたが、多くの保護者の方に聞いていただきたい内容でした。11月の参観日の折に、参加した保護者役員さんから伝達していただきました。